

はじめに

このドキュメントは、IT資産管理Rudeusクライアントの概要と使い方について説明します。

概要

Rudeusクライアントは、IT資産管理システムErisのクライアントアプリケーションです。

管理サーバErisと通信し、デバイスの登録、情報の更新、アクセスログの取得などの機能を提供します。

下図は、RudeusクライアントがErisと通信する際のイメージです。

[!rudeus-ab](#)

このドキュメント内では上の常駐プログラムをクライアントまたはRudeusと呼びます。

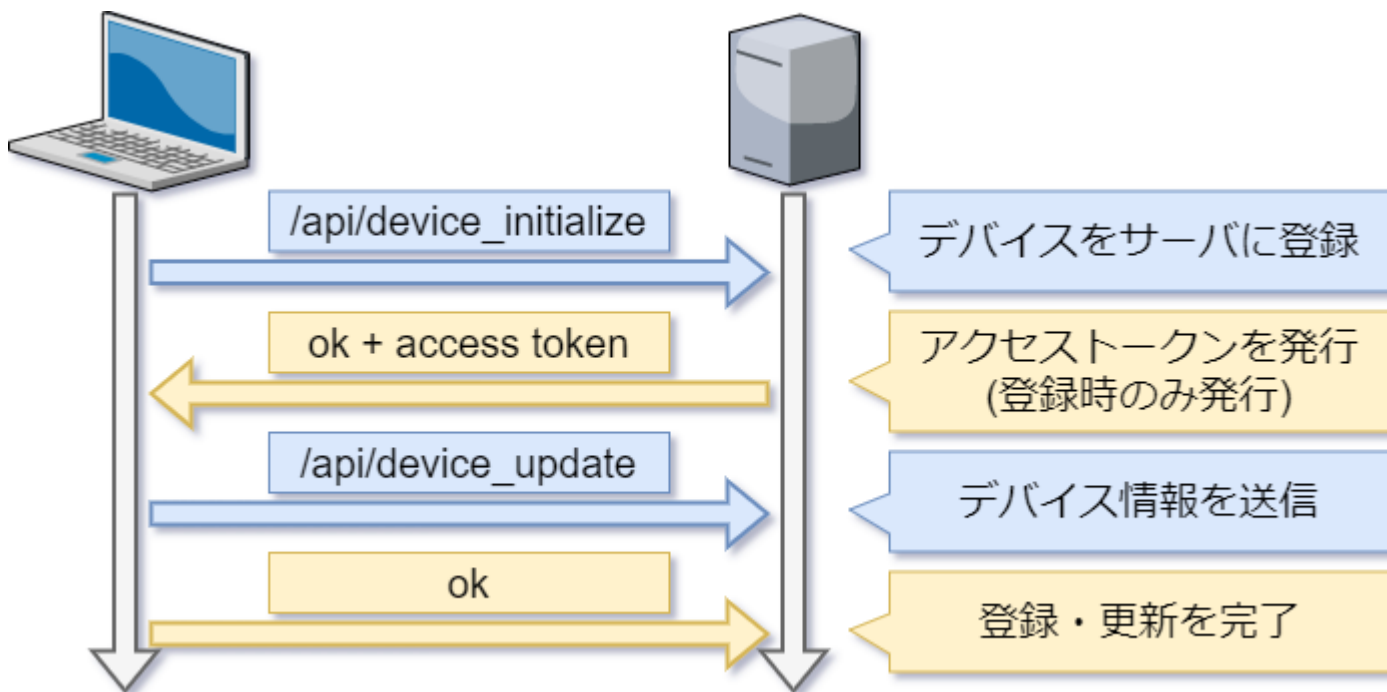
運用方法

動作の流れ

Rudeusクライアントは、REST APIを使用して管理サーバと通信します。

操作に使用するREST APIについて説明します。

デバイスの登録



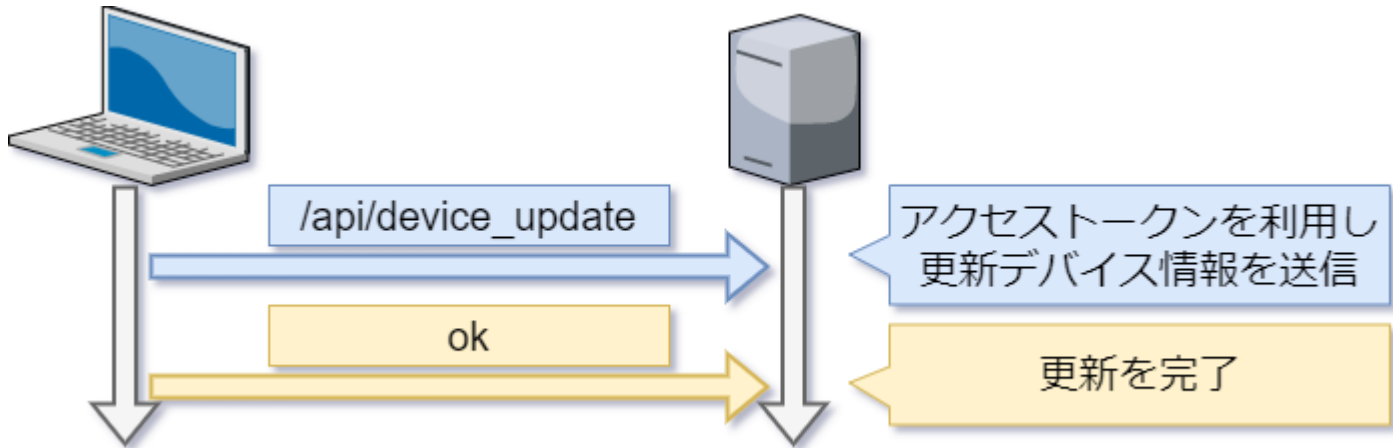
デバイスを登録するためには、`/api/device_initialize`を使用します。

このAPIは、デバイスを初期化し、アクセストークンを発行します。

初期化後には、デバイスの情報を更新するためのAPIを使用します。

`/api/device_initialize`を除くすべてのAPIは、初期化後に発行されるアクセストークンを使用して認証されます。

デバイス情報の更新



デバイス情報を更新するためには、`/api/device_update`を使用します。

このAPIは、デバイスの情報を最新の状態にします。

その他のドキュメント

管理サーバErisについては、[こちら](#)でデモとドキュメントをご覧ください。(ユーザ/パスワードはadmin/adminです。)

管理サーバのテーブル定義は[こちら](#)

APIの詳細なリファレンスは[こちら](#)

開発時のメモは[こちら](#)

インストール方法

インストーラを使う

1. Githubの[リリースページ](#)にアクセスし、[インストーラ\(HIU_System_Manager_Installer_Release.exe\)](#)をダウンロードします。
2. ダウンロードしたインストーラを実行します。
3. インストールは完了です。

ビルド方法

手動でビルドする場合

環境構築

APIリファレンス

アプリが利用するREST APIのリファレンスです。

ペイロード等の詳細なAPIリファレンスは[こちら](#)を参照してください。(ユーザ/パスワードはadmin/adminです。)

POST /api/device_initialize

デバイスを初期化するためのAPIです。初期化後にアクセストークンが発行されます。

POST /api/user_login

note: deprecated 廃止されたAPIです。

POST /api/device_update

デバイスの情報を更新するためのAPIです。

POST /api/device_mac_update

デバイスのMACアドレスを更新するためのAPIです。

GET /api/update_metadata

アップデート情報を取得するためのAPIです。

POST /api/check_access_token

未実装

アクセストークンの有効性を確認するためのAPIです。

POST /api/application_update

未実装

GET /api/check_server_status

未実装

用語集

用語の定義を行うページです。

サーバ

クライアントからデータを受け取るAPIを持った管理サーバのことを指します。

クライアント

学生の貸与PCにインストールするプログラムのことを指します。

デバイス

クライアントをインストールし、管理下に置かれた貸与PCのことを指します。

デバイス情報

クライアントが管理サーバに送信するデバイスの情報のことを指します。MACアドレスやホスト名、インストール済みアプリなどの情報が含まれます。

アクセストークン

クライアントが管理サーバに対して認証を行うためのトークンのことを指します。

登録

デバイスを管理サーバに登録することを指します。

更新・同期

デバイスの最新の情報を管理サーバに同期させることを指します。

アップデート

クライアントアプリケーションを最新の状態にすることを指します。